九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[26_05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1470239

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 26 (5), 1993-09-27. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

編　集　後　記

じめじめした夏（といっていいのかな？）も過ぎ，虫の音涼しいさわやかな秋，と思ってたら台風の連続パンチです．気象台の発表では今年の梅雨明けはなかったとか．これでも専門家によると異常気象ではないそうです．せめて気分爽快な秋であってほしいものですね．

秋きぬと目にはさやかにみえねども風の音にぞおどろかれぬる（あってる？）

風流な和歌ですが，これが載っている歌集には，この和歌の前に「秋立つ日に詠める」とあるようです．季節を感じて和歌にしたのではなく，和歌を詠むために季節を使ったのでしょうか（編集後記みたい？！）．百人一首には「秋の夕暮れ」で結ぶものが二首あったと記憶しています．清少納言も「秋は夕暮れ」といっていますが，それよりも食欲？　今年は松茸が安いそうなので松茸尽くしでも食べにいってみようかな．

さてさて，ほとんど解説記事ばかりだった広報に，随想というものが載りました．お堅いマニュアルチックな記事だけでなく，こんな（といっては失礼か）記事も大いに参考になるかと思います．分野ごとに慣用的な記法が異なるものを統一するのは無理でしょうが，せめてセンターからでる原稿ぐらいはなんとかしなければ．　　T．F

夏にならないままで夏が過ぎ，博多の三大祭りの一つ筥崎宮の秋の大祭「放生会（ほうじょうや）」の時期になりました．

一昨日から逸見政孝氏の癌の報道がマスコミを賑わしています．本人はもとより身内に癌患者を抱えている者の心境は言葉ではとても言い表せません．それも本人に知らせていないものですからあの報道で気付いたのでは・・・・・と心配です．最近は癌，癌，癌・・・・・・．

我が家の家系に癌は関係ないと高を括っていたのですが，この夏の実父への癌宣告で大ショック．今は自分の命の期限を知らない父が何時悟るのだろうか，もう知っているのだろうか，何時強い痛みがくるのだろうか，もう一緒に新春を祝うこともないと思うとやり切れません．

でも，父も私達も幸福でしょう．８４才の今日まで殆ど病気をすることもなく元気で暮らしてきたのですから．普通なら何も知らずに最期の日を迎える筈が，たまたま先に知らされたばかりに狼狽して，本当は私達も何も知らない方がよかったとも思います．

目を世界に向けても紛争ばかりの暗いニュース，自然破壊が原因とも思える自然災害，センターではネットワーク関係の諸問題，etc．暗いというより重い課題がいっぱいですね．あーあと溜息つくのはやめにしてプラス志向で明るく明るく！！

気を取り直して夏がなかった分秋を大いに満喫しようではありませんか．読書の秋，食欲の秋，スポーツの秋，憂愁の秋，皆さんはどんな修飾語をおつけになりますか．お若いカップルには人生最高の秋（結婚シーズンですものね），旅立ちの秋，・・・・・・，私も受験生を抱え実家の父母を気にかけながら，それでもまためぐりくる春に向けて頑張らなくっちゃ．

（人生の春もまだまだ何度かやってくるのだと信じたいＳ．Ａ）

広報の表紙はダサイ？！
そういう声をよく耳にします．そう言われると確かにちょっと（随分？）地味な感じです．どんな表紙にすればもっとはえるでしょう？　デザインも含めてよいアイデアがありましたら共同利用掛，a70052a(メール）までご提案ください．
（形式自由，匿名可）